

議案第 4 2 号

狭山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

狭山市後期高齢者医療に関する条例（平成 2 0 年条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

附則第 4 項中「延滞金の」の次に「年 1 4 . 6 パーセントの割合及び」を加え、「各年の前年の 1 1 月 3 0 日を経過する時における日本銀行法（平成 9 年法律第 8 9 号）第 1 5 条第 1 項第 1 号の規定により定められる商業手形の基準割引率に年 4 パーセントの割合を加算した割合をいう」を「当該年の前年に租税特別措置法（昭和 3 2 年法律第 2 6 号）第 9 3 条第 2 項の規定により告示された割合に年 1 パーセントの割合を加算した割合をいう。以下この項において同じ」に、「その年中においては、当該特例基準割合（当該割合に 0 . 1 パーセント未満の端数があるときは、これを切り捨てた）」を「その年（以下この項において「特例基準割合適用年」という。）中においては、年 1 4 . 6 パーセントの割合にあつては当該特例基準割合適用年における特例基準割合に年 7 . 3 パーセントの割合を加算した割合とし、年 7 . 3 パーセントの割合にあつては当該特例基準割合に年 1 パーセントの割合を加算した割合（当該加算した割合が年 7 . 3 パーセントの割合を超える場合には、年 7 . 3 パーセントの）」に改める。

附 則

- 1 この条例は、平成 2 6 年 1 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の附則第 4 項の規定は、延滞金のうち平成 2 6 年 1 月 1 日以後の期間に対応するものについて適用し、同日前の期間に対応するものについては、なお従前の例による。

平成 2 5 年 6 月 4 日提出

狭山市長 仲 川 幸 成

提案理由

地方税法の改正に鑑み、納期限後の保険料の納付に係る延滞金の割合の特例の規定を改めたいので、この案を提出するものである。